第一回JCCS競技プログラミング

index

１．はじめに
２．競技概要と参加条件について
３．評価方法について
４．スケジュール
５．質疑について
６．実施予定場所について
７．結び

１．はじめに

この度、JCSS競技プログラミングを開催した理由として
皆さんが普段している活動に対して第三者へのアウトプットする場を設け
サークル活動を更により良くすることです。

現状、SNS等の普及により個人製作の発表の場は広がっておりますが
学生のサークル活動は学校内で留まっているケースが大半です。
競技プログラミングはグループで競い優劣をつけ互いに繁栄させることが目的です。

是非、気軽にご参加いただければと思います

2.競技概要と参加条件について

2-1.競技概要について
事前に運営側より仕様書を配布します（仕様書は12月年末に配布予定）
仕様書の条件を満たしたプログラムを作成していただき
競技プログラミング当日にグループ間で競っていただきます。
また、当日はプレゼンテーションも行います。
プログラミング以外を主な活動している者も参加いただけると幸いです。

2.競技概要と参加条件について

2-2.参加条件について
①3～7人のグループであること（部員数等の出来ない場合はそれに限らない）
②グループ構成は上級生だけでなく1～4年が等しくいること（同上）
③プログラミング以外を主な活動している者はプレゼンテーションとして参加すること
④グループは同じ大学内で集める必要はない
⑤サークルに所属している必要はない
⑥当日は出来る限りの参加すること
⑦１大学から複数のグループ選出してもよい
⑧同じ者が複数のグループをまたがらないこと

3.評価方法について

技能点…６０点
プレゼンテーション点…４０点

技能については当日の順位を成績とし、１位より減算方式とする。
(例)１位…６０点、２位…５０点など
プレゼンテーションは当日OB全員が評価し、合計点を得点とする。

技能点とプレゼンテーション点の合計で最終的な順位とする。

※得点については変更する可能性あり

4.スケジュール

	１１月	１２月	１月	２月	３月
一時周知					
二次周知					
参加表明、仕様書配布		参加表明			
質疑回答			中間報告		
実施日				実施	

5.質疑について

参加の有無に関わらず随時質疑は受付るが
仕様や当日に関しては仕様書配布後に一定期間質疑期間をもうける。
全ての質疑を集めた後、全ての参加者に対して質疑の回答をする

5.実施予定場所について

山手線沿線上のレンタルスペースを想定

6.結び

今回の活動をきっかけに皆さんの技術の向上やモチベーションの向上繋がれば幸いです
多くの学生の参加に期待しております。
お忙しい時期だと存じますが、ご参加のほど、よろしくお願いいたします。